

いしずえ整形外科

27年以上にわたる骨・関節疾患治療の経験で
高度な手術から外来診療まで幅広く実践する

培った知識・技術を
地域の人々のために

J R 戸塚駅前 2011年8月に開院したいしずえ整形外科。大久保俊彦院長は、骨・関節疾患の治療に27年以上携わり、数々の総合病院で第一線に立つて手術を行ってきた。その高い技術で行う人工関節置換術は、人工関節の設置や筋の処置などを患者個々にあわせて行い、優れた機能回復を可能にしている。ほかに、人工関節の両足同時手術や、



院長 大久保 俊彦

おおくぼ・としひこ ●1983年、杏林大学医学部卒業後、日本医科大学麻酔科や横浜市立大学整形外科、横浜市民病院、関東労災病院、横浜南共済病院への勤務、大口東総合病院整形外科部長、西横浜国際総合病院関節外科センター長を経て、いしずえ整形外科を開院。日本整形外科学会認定整形外科専門医など

関節をより良い形に造り直す骨きり術、骨粗鬆症の装具療法や注射治療など、より進んだ治療も実施。機能向上を目的とした能動的リハビリの知識も豊富で、自ら設立した「骨・関節研究会」で研究と指導に取り組んでいる。

「今までの診療を通じて蓄えてきた技術や理論を基に、地域医療を実践していきます」と、同院を開院した目的を語る大久保院長。骨・関節は、1つの部位が悪くなれば、全身のバランスが

多くの患者に伝えるため
他院との連携や後進の
育成にも取り組む

開院以来、同院には変形性関節症の手術を希望する患者の来院が増え続けている。それに応えるため、大久保院長は2つの病院と協力し、週に2日の手術日を設けて対応している。さらにこうしたニーズに

崩れてしまい、他の部位にも悪影響をおよぼす。そのため、体の中心が崩れる腰痛疾患などは、独自のストレッチや機能リハビリ、ブロック療法、装具治療などで受診時に痛みを除去し、全身の動きを改善する方針としている。大久保院長は、その経験と知識による、全身を考慮した治療で、地域の患者により良い整形外科医療を提供していくという。

応えるため、後進の育成に力を入れていくことも考えているという。「ゆくゆくは、育成した技量の高い医師や理学療法士に患者さんを紹介していく形も考えています」。骨・関節疾患は、適切な治療の選択や、手術に踏み切る時期の判断が特に経験を要する部分だ。そこを大久保院長が担当し、各治療に特化した医師が診療を担当することで、より高度な治療を多くの人に提供できるようにするという。

「また、既に骨・関節研究会の体操倶楽部で体の機能改善が実証された術前後の患者さんへの機能向上エクササイズは、理学療法士とフィットネスのコラボレーションとして自院で行う計



術後の患者に対する機能向上エクササイズも指導する

INFORMATION

診療科目: 整形外科
診療時間: 月~金 9:00~12:30 / 14:30~18:30
土・日 9:00~12:30
休診日: 火・祝
〒244-0003
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-12 フタバビル501
TEL.045-881-1188
http://ishizue-seikei.com/
●骨・関節研究会ホームページ
http://home.s04.itscom.net/kansetu/
●横浜股関節研究会ホームページ
http://home.f08.itscom.net/hipjoint/

画です。これらの要素をつなぎ合わせ、全体を統括する体制作りも手がけたいと考えています。「礎」という院名は、当院をその基盤にしたいという思いを込めています」。大久保院長は、最善の地域医療を求め続ける。取材/鈴木健太



同院の待合室には院名の由来である「礎」の字が飾られる